

実態から要求 として組織拡大

職場活動家交流会 集

国 労 水 戸



6月10日、地方本部は県民文化センター分館にて第9回職場活動家交流会を開催しました。交流会は、東日本大震災から1年が経ち復旧・復興が歩み始める一方、未だ収束しない福島原発事故の状況もとの集会となりました。集会は組織の最重要課題である組織拡大を中心に、4月から実施された「新人事・賃金制度について」（福田護弁護士）、「東京地本組織拡大の取り組み」（松川聡書記長）についてそれぞれ講演と報告を頂ました。

また、職場からの実態報告は、組織加入の取り組みや新規採用者との繋がり（スポーツやレクリエーション）などが紹介され、新たな「人事・賃金制度」や業務委託などの合理化は、職場運動の活性化と組織拡大で闘いを強めようと全体で確認しました。

国労水戸地方本部
水戸市中央1-1-11
ENYビル2F
029-221-4008
発行責任者 大和田亨
編集責任者 坂本公則

新 人 事 ・ 賃 金 制 度 で 講 演

職場活動家交流会で福田護弁護士は、JR東日本会社が4月から実施している「人事・賃金制度の見直し」に対し、「制度導入のねらいと課題」について講演を頂ました。講演で福田護弁護士は、新制度の目的と基本問題、等級区分と昇進制度、管理者による人事考課・裁量の拡大と不可知情報の拡大、対応策と課題の4点について報告されました。

制度の基本的な問題点として、能力主義と社員間競争の激化、人事考課及び裁量の拡

大と不可知情報の増大として、います。会社による社員管理の強化と組合影響の職場からの排除を主たる目的にしていると指摘しました。

新人事・賃金制度に対する対応策と課題についても触れ、昇進や昇給制度の運用実態の把握、会社の管理者による社員掌握と管理強化の狙い等をしっかりと掴む取り組みが大切で、社員の非組合員化の問題では、「この組合に入っても同じ」「入っても入らなくても同じ」との会社の論理についても説明しました。

最後に組織の最重要課題である、「国労の組織拡大に向けて」福田護弁護士は、会社の論理と組合の論理、組合の存在意義の明確化、労働条件の向上、雇用の安定、外注化問題、非正規問題、鉄道の公共性と安全安定輸送を打ち出すことが重要だと報告しました。社員の組合離れが危惧されなかで、今日ほど新規採用者や社会人採用者の組合員化の重要性が増しています。組織拡大の取り組みは待ったなしと強調し講演を終了しました。



職場・地域の活動に自信を持ち、引き続き、組織拡大に全力をあげよう！

2012年度定期全国大会及び東日本本部大会代議員選挙結果について

国労水選管（全・東）第2号により、「2012年度定期全国大会及び東日本本部大会代議員選挙の実施」を発し、2012年6月13日（水）立候補締め切りを行い、定数通りの立候補となり以下の通り当選を確認しましたので報告します。水戸地本選挙管理委員会（塙正人選管委員長）は各分会へ選挙公報を発送しました。

- 2012年度定期全国大会 代議員定数（2名）
菊池忠志（51歳）地本書記長（大子地区分会）
森山利浩（56歳）分会執行委員長（平地区第2分会）
- 2012年度東日本本部大会 代議員定数（2名）
出羽正則（48歳）地本執行委員（水戸地区第2分会）
坂本公則（55歳）地本執行委員（勝田地区分会）



訂正と詫び
国労水戸14号に掲載された石丸小四郎氏の講演で不適切な表現がありました。「長振動と短振動の・・・」を長振動と短振動が正当です。